

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



TOTO 見学報告②森村グループ

TOTO 本社のミュージアム見学報告の2回目です。そのTOTOの源は、日本の産物を海外に輸出した森村組(現在の森村商事㈱)と言います。森村組は、明治期に貿易業を起し、海外で人気の白色硬質磁器の国産化を果たし、日本陶器を立ち上げています。それが現在のノリタケカンパニーです。そこから衛生陶器部門を分離し、東洋陶器(現TOTO)が生まれ、その後、碍子(絶縁器具)部門を分離し、日本碍子(現日本ガイシ)が生まれ、さらに、そこから点火プラグ部門が分離し、日本特殊陶業(NGK)がそれぞれ各分野のトップ企業としての事業活動を展開中です。

日本の陶磁器産業を代表する企業集団の森村グループですが、創業時からの方針が「一業一社」で、新たに新企業を立ち上げ、その専門分野事業に集中し、それぞれに繁栄を遂げてきています。しかし、エンジンで動く自動車業界に一大異変が生じ、電気自動車時代が到来しつつあり、点火プラグが不要な状況が生まれています。そうした中で、森村グループ各社が共同し、燃料電池(SOFC)を集中開発する取り組みが印象的でした。なお、「森村学園」(最寄り駅:田園都市線つくし野駅)はそのグループの一員です。



TOTO ウォシュレットの梱包セット

中学校のエレベーター工事と給食開始

中学校にエレベーターが設置されます。国の法律改正(高齢者・障害者等の移動等円滑化の促進に関する法律)で既存の学校施設では校舎内の移動の場合もバリアフリー化することが求められ、今の校舎にエレベーターを追加する工事が行われるものです。まず、本年度に設計を行い、来年度に業者発注、設置工事を行う予定です。



市議会の議論に先駆け、青森県八戸市のセンター方式給食を現地視察した写真



そのエレベーターは、新たに始まる中学校給食に用いる「食缶」を校舎の2F以上の階に搬送することにも利用されます。給食は市内の複数カ所の給食センターで作られ、それぞれの調理品を「食缶」に入れて、各学校まで車で搬送し、そこから台車に移し、その台車ごとエレベーターで各フロアまで搬送するものです。*これまで町田市が実施する業者委託方式の給食弁当は、各学校校舎の1F保管庫に一時保管され、それぞれに生徒さん自身でそこまで取りに行く方式でした。そのために、昼食時間がとても制限される課題がありました。今回のセンター方式給食(食缶利用)の導入で、給食が昼休みまでに各教室階まで移動され、温かい給食が提供されることとなります。

- ◎所属会派の名称はシンプルに「無所属」とし、3名の議員で構成しています。
- 支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。
- 吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



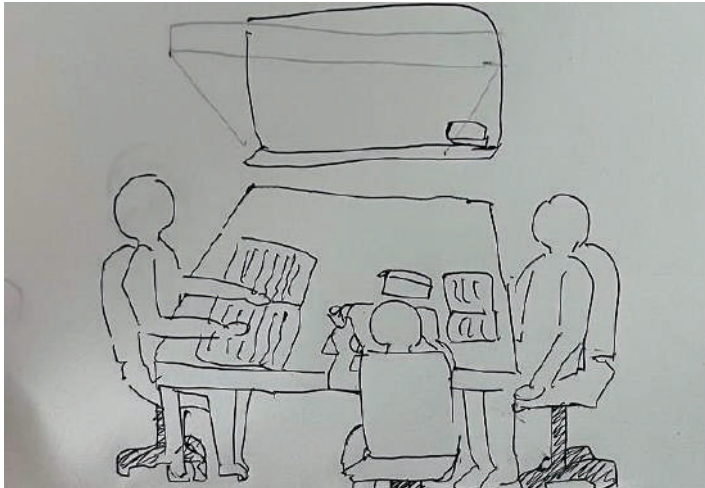
メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、間もなく第50期生がスタート

インターン体験記⑦柳原桃花

町田市庁舎の四階にある広報課の事務所へ行くと、広報課長である樋口草紀子さんが、私たちが優しく出迎えてくださいました。まず、広報課が月に2回発行している「広報まちだ」の3月15日号を拝見させていただきました。3月15日号のメイン記事には桜の写真が大きく載っていてとても印象的です。このような表紙を飾るメイン記事は、年度ごとに広報課が市民に有益なものをピックアップして選んでいるそうです。そして、季節ごとに記事の内容は大きく変わります。



2ページ以降に書かれている記事は、町内から意見をいただいて載せているものや、市民が自発的に活動しているサークルなどの活動内容を一定のルールを設けて載せているそうです。他にも、囲み記事は広報課でアンテナを張っている市民に重要なものを載せるようにしているそうです。町田市では、市民向けに発信するだけでなく、プレスリリースと言って町田市と関わりの深い記者会などに情報を流すことで、新聞などで取り上げていただくたり、市外に向けた発信も行っていることを樋口さんは教えてくださいました。活動者が、誇りに思っていることを伝えるだけでなく、市民に町田市への愛着や、誇りを持ってもらうため、そして市外の方には関心を持っていただけるように広報課は発信をしていると仰っていました。

広報活動への情熱が伝わってきて、自分も樋口さんや町田市の広報課のように熱意を持って将来、仕事ができたらいいなと思いました。

インターン体験記⑧柳原桃花



今回は、外資系のビジネス企業について、元インターン生の方にお話を伺いました。Zoomでの面談だったため少し緊張しましたが、優しく丁寧に説明していただいたおかげでお話ししやすかったです。私はファッションやコスメなど美容分野について興味があるので、美容系の企画や開発などができる仕事をしたいなと思っています。なので、外資系についてはほとんど何も知らなかったのです。仕事をする上で、職場環境や仕事のメンバーなどがとても大事になると仰っていました。

働いている職場は、人間関係がさっぱりしていてとても働きやすい職場だそうです。仕事が好きでも、仲間との関係が悪いうまくいかないこともありますよね。就職をするときに、会社の雰囲気などしっかり見極めようと思いました。私がイラストを描くのが趣味だという話をした時、文章だけで伝えるよりも、イラストなどのアートを入れるだけで伝わり方が違うと教えてくださいました。どのビジネスでも、サポートとしてイラストを描けるという特技は生きてくると思うので、活用できるように頑張りたいです。就職に対する意識が変わり、お話を聞けて本当に良かったです。

専修大学新3年生 柳原 桃花(第49期生)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年3月より49期生が研修を行いました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次期インターンシップの第50期生となりますが、現在、1名受付済み、他にも受付中です。